

燕市

飲食店等に事業継続支援金 1店舗20万円

受付期間 6月21日～9月30日

新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛の影響を受けた飲食店の事業継続を支援するため、1店舗当たり20万円の支援金を支給する制度が創設されました。関係者に案内も出されており、申し込みが始まっています。

支給要件

売上高が令和3年4月から令和3年8月までの期間において、2カ月連続して前年同月比または前々年同月比で20%以上減少していること。

例) 令和3年4月売上500,000円① 令和2年4月売上1,000,000円②

減少率の計算 ①-②/②×100 この場合は▲50%

つまり、5月も20%以上減少している場合に当てはまります。

添付書類

- 令和3年の月別売上帳 ●令和2年若しくは令和元年の月別売上帳
 - 税務署の受付印が押された確定申告書写し ●通帳や免許証などの写し
 - 営業許可等の写し ●店舗の内観、外観等の写真
- 詳しくは事務局、市役所等にお問い合わせください。

燕民商第68回定期総会(7月9日)



選出された役員

理事	理事	理事	副会長	副会長	会長
齊藤	富所	宮崎	金子	高橋	田山
政春	国雄	秀昭	英治	満夫	松茂
					司郎

会計	理事	理事	理事	理事	理事	理事
監査	監査	監査	監査	監査	監査	監査

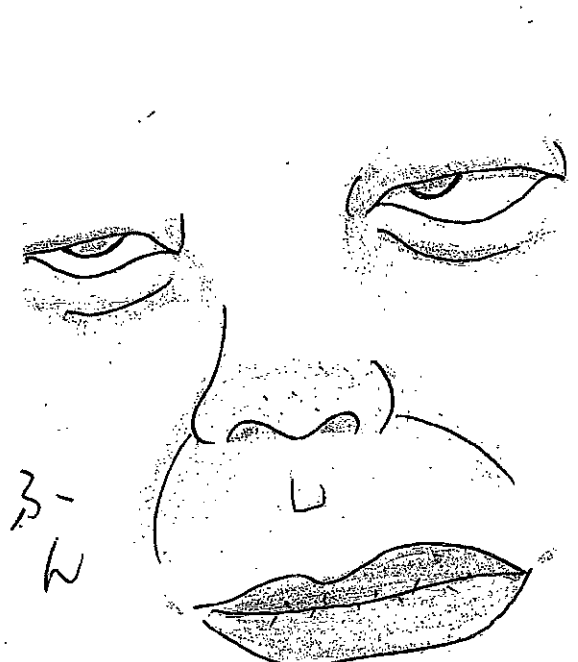
山田	笠原	丸山	塩田	田村	沙見	高波
啓吉	五男	吉範	正義	正夫	登美子	清孝
					義久	登美子

燕民商会館を会場にコロナウィルス感染対策を万全に、夜7時より第68回定期総会を開催しました。

昨年に続き、来賓無し、懇親会無しの異例の総会となりました。コロナ禍の早期収束と被害者救済の要求運動に民商の真価を発揮しようと、参加した代議員の熱気が会場に溢れました。民商の諸運動に対し会員各位のご協力お願いいたします。

ソーメン 販売中!

あの声・この声・ふせき



★(ひと昔の話)

- ・はあちゃんはおせんぱいをかみくくいて孫にあててました。
- ・酒やタバコは子供でも買いにいきました。
- ・夫(男)は何もいません。(今は家事の時)
- ・タタミの部屋にカーペットしいたいかに洋風にみせるか苦労しました。
- ・昔はフルーツはみんぱあ、はかたです。今は甘いです。
- ・ガソリン100円の時ありました。

★ 姑に「ふくしん漬け」買ってきてといわれたので、赤いの買っていったら「これは着色料が多いからダメ」と叱られました。「このヤロー!!」←心の声

★ 近所のマダムは、短いけど太くて、右側のナニに毎日大興奮しているそうです。ナニって、ネコのレノポです。

★ おばあちゃんとおじいちゃんに間違われたいら、もうおじいちゃんです。

★ 男トイレに行ける様になったらおばあさん、小便トイレできる様になったらおばあちゃん。

★ 歳が経って目を細めるのがお兄さん、目が悪くて目を細めるのがおじさん、孫がかかいて目を細めるのがおじいちゃん。

★ 昔、スイカ売りのバイトした事あります。いきなり道で降ろされスイカを売らなくてもおこく売れました。食べ放題だし、お金もよかったです。

